

## 第6期末(2020年11月20日)

基準価額	10,511円
純資産総額	81億円
騰落率	△1.2%
分配金	0円

# <購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券 インデックスファンド

追加型投信／国内／債券／インデックス型

## 運用報告書(全体版)

作成対象期間:2019年11月21日～2020年11月20日

第6期(決算日 2020年11月20日)

### 受益者の皆様へ


平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「<購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド」は、このたび第6期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ国内債券インデックススマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に投資することにより、NOMURA-BPI 総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506** (コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

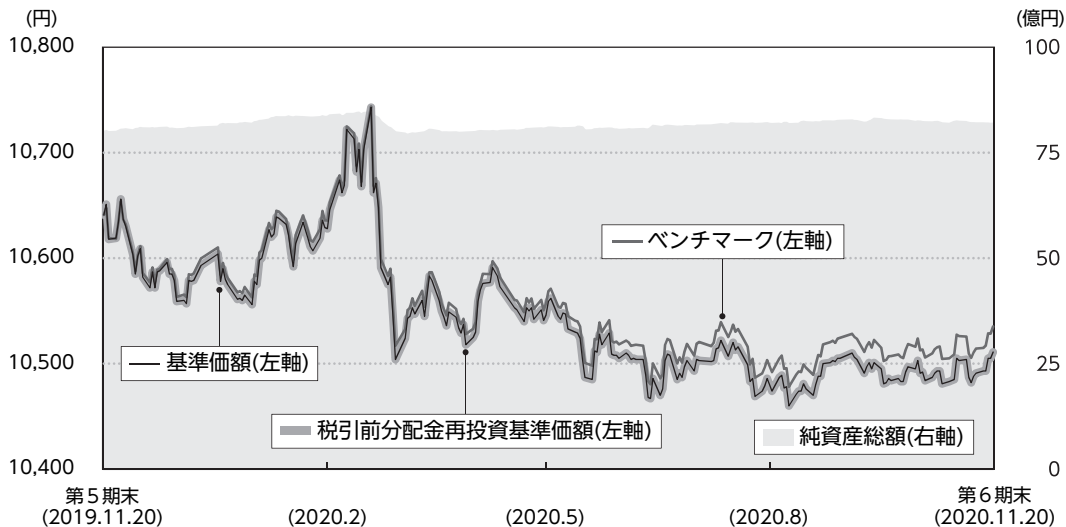
NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2019年11月21日～2020年11月20日

## 基準価額等の推移



第6期首	10,641円	既払分配金	0円
第6期末	10,511円	騰落率(分配金再投資ベース)	△1.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークはNOMURA-BPI総合で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・ 中国で発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念を背景に、1月下旬から3月上旬にかけて国内長期金利が低下(債券価格は上昇)したこと

### <下落要因>

- ・ 新型コロナウイルスのさらなる世界的な感染拡大を受けて市場の先行き不透明感が強まったことから、3月中旬に投資家が債券を売却し現金化する動きが強まり、金利が急上昇したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	14円	0.132%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は10,543円です。</p>
(投信会社)	( 6)	(0.055)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 6)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.001	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	( 0)	(0.001)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	14	0.133	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

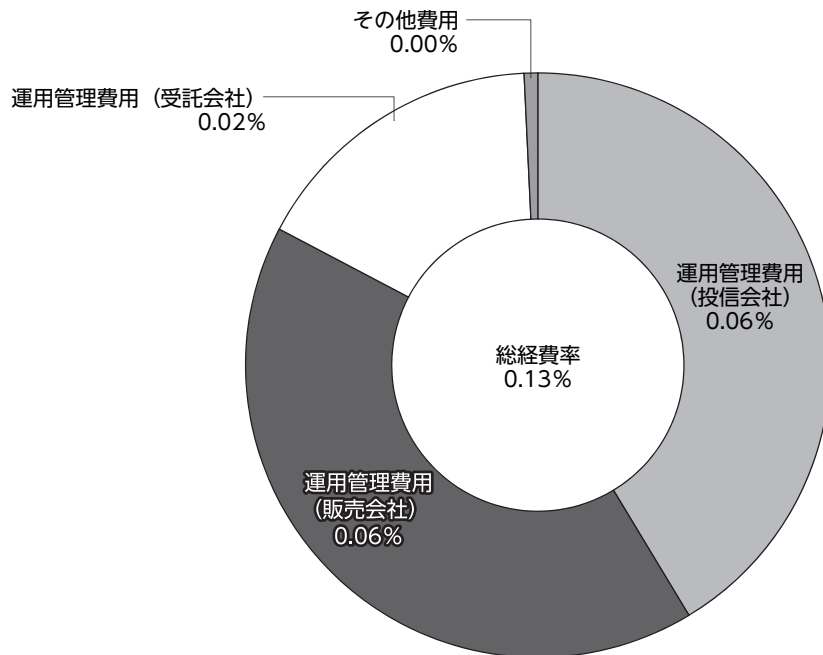
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.13%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 国内債券市況



(注) 10年国債金利はブルームバーグのデータを使用しています。

当期の10年国債金利は上昇しました。

期初以降、米中両国の良好な経済指標などを受けて国内金利はおおむね上昇基調となりましたが、1月下旬から3月上旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念を背景に、大きく低下しました。その後、3月中旬にかけては同ウイルスのさらなる世界的な感染拡大に伴う市場の流動性低下懸念などから金利は急上昇しましたが、下旬になると日銀が臨時の買い入れオペ（公開市場操作）を発表したことなどから低下しました。4月以降も同ウイルスの感染拡大に対する先行き不透明感などから金利は低下傾向で推移しましたが、経済活動再開への期待感などから上昇する場面もありました。

5月以降は同ウイルスの感染再拡大懸念や米中对立懸念などが金利の低下要因となる一方、経済対策への期待感や8月以降の株式市場がおおむね堅調であったことなどが上昇要因となり、国内金利は上下しつっぽ横ばいでの動きとなり、結局、期初を上回る水準で当期末を迎えました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

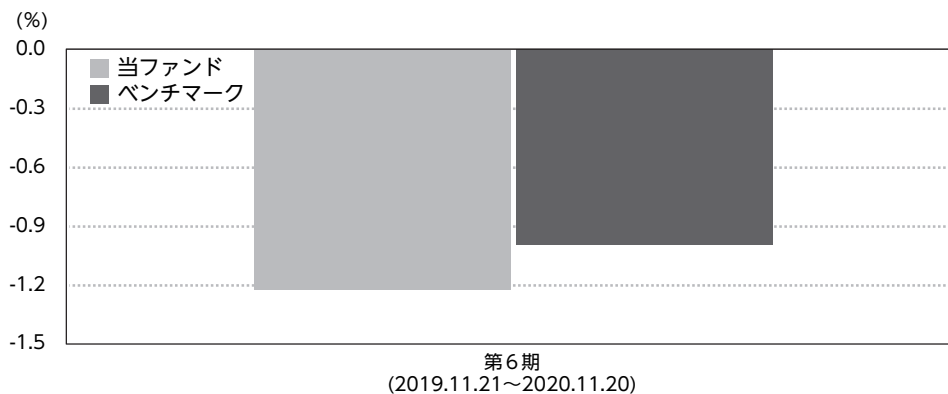
ニッセイアセットマネジメント株式会社と株式会社ニッセイ基礎研究所が共同開発したクオンツモデルを利用して、ポートフォリオのデュレーション、残存期間別構成比（短期・中期・長期・超長期の構成比）等を調整し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。

当期も上記クオンツモデルに基づき、ポートフォリオのデュレーション、残存期間別構成比がベンチマークに対しおおむね中立となるよう、適宜売買を実施しました。

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

\* ベンチマークはNOMURA-BPI総合です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## ベンチマークとの差異



当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-1.2%となり、ベンチマーク騰落率（-1.0%）にほぼ連動しました。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
 なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2019年11月21日～2020年11月20日
当期分配金(税引前)	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	510円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的にベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

### ■マザーファンド

引き続き、クオンツモデルに基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第6期末 2020年11月20日
ニッセイ国内債券インデックス マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

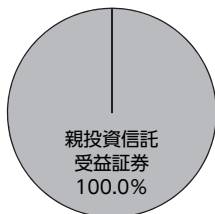
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

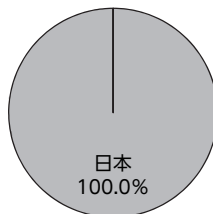
項目	第6期末 2020年11月20日
純資産総額	8,182,836,754円
受益権総口数	7,785,095,174口
1万口当たり基準価額	10,511円

(注) 当期間中における追加設定元本額は3,363,386,038円、同解約元本額は3,084,288,045円です。

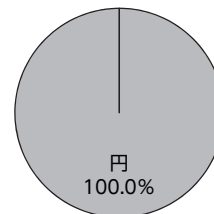
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分

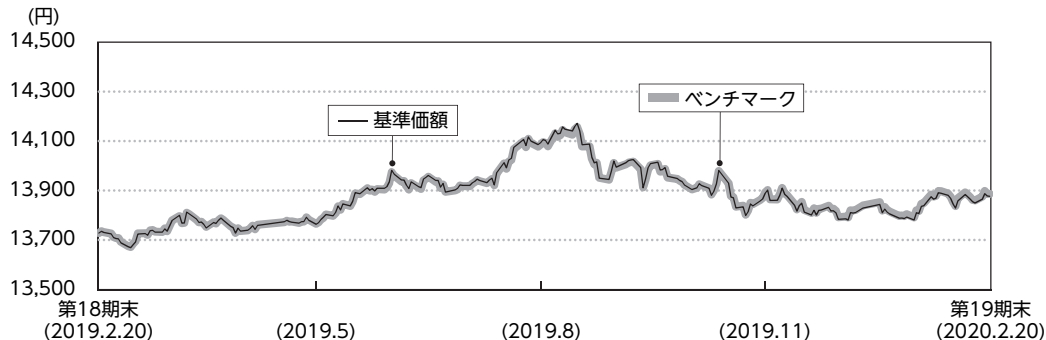


(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年11月20日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。



## ニッセイ国内債券インデックスマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

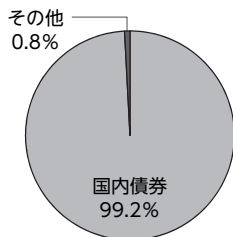
銘柄名	通貨	比率
第342回 利付国債 (10年)	円	7.5%
第143回 利付国債 (20年)	円	7.4
第160回 利付国債 (20年)	円	6.9
第133回 利付国債 (5年)	円	6.2
第117回 利付国債 (20年)	円	6.1
第100回 利付国債 (20年)	円	5.7
第333回 利付国債 (10年)	円	5.7
第350回 利付国債 (10年)	円	4.8
第54回 利付国債 (30年)	円	4.7
第403回 利付国債 (2年)	円	4.5
組入銘柄数		34

### ■ 1万口当たりの費用明細

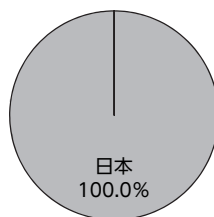
2019.2.21~2020.2.20

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

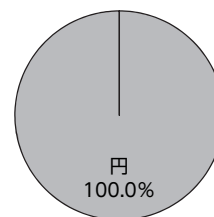
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2020年2月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	ベンチ マーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円		%	%	百万円
2期(2016年11月21日)	10,408	0	3.9	10,408	10,447	4.1	99.0	4,329
3期(2017年11月20日)	10,372	0	△0.3	10,372	10,424	△0.2	99.3	5,664
4期(2018年11月20日)	10,350	0	△0.2	10,350	10,430	0.1	99.4	6,492
5期(2019年11月20日)	10,641	0	2.8	10,641	10,736	2.9	99.1	7,986
6期(2020年11月20日)	10,511	0	△1.2	10,511	10,629	△1.0	99.2	8,182

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

### 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチ マーク	騰落率	債券 組入比率
	円	%		%	%
(期首)2019年11月20日	10,641	—	10,736	—	99.1
11月末	10,630	△0.1	10,727	△0.1	99.3
12月末	10,593	△0.5	10,694	△0.4	99.2
2020年1月末	10,638	△0.0	10,739	0.0	98.9
2月末	10,722	0.8	10,820	0.8	98.9
3月末	10,545	△0.9	10,648	△0.8	99.7
4月末	10,583	△0.5	10,684	△0.5	99.7
5月末	10,533	△1.0	10,639	△0.9	101.1
6月末	10,489	△1.4	10,596	△1.3	99.2
7月末	10,522	△1.1	10,633	△1.0	98.9
8月末	10,471	△1.6	10,583	△1.4	99.2
9月末	10,501	△1.3	10,614	△1.1	99.4
10月末	10,481	△1.5	10,598	△1.3	99.4
(期末)2020年11月20日	10,511	△1.2	10,629	△1.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

＜購入・換金手数料なし＞ニッセイ国内債券インデックスファンド

**親投資信託受益証券の設定、解約状況**

2019年11月21日～2020年11月20日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド	2,575,238	3,551,384	2,369,357	3,267,687

(注) 単位未満は切り捨てています。

**利害関係人との取引状況等**

2019年11月21日～2020年11月20日

当期における利害関係人との取引はありません。

**親投資信託残高**

2020年11月20日現在

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド	5,750,493	5,956,373	8,182,866

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ国内債券インデックスマザーファンド全体の口数は32,682,425千口です。

**投資信託財産の構成**

2020年11月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド	8,182,866	99.5
コール・ローン等、その他	37,266	0.5
投資信託財産総額	8,220,133	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

<購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

**資産、負債、元本および基準価額の状況**

(2020年11月20日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>8,220,133,083円</b>
コール・ローン等	5,344,896
ニッセイ国内債券インデックス マザーファンド(評価額)	8,182,866,341
未収入金	31,921,846
<b>(B)負債</b>	<b>37,296,329</b>
未払解約金	31,832,525
未払信託報酬	5,418,735
その他未払費用	45,069
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>8,182,836,754</b>
元本	7,785,095,174
次期繰越損益金	397,741,580
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>7,785,095,174口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C/D)</b>	<b>10,511円</b>

(注) 期首元本額 7,505,997,181円  
 期中追加設定元本額 3,363,386,038円  
 期中一部解約元本額 3,084,288,045円

**損益の状況**

当期(2019年11月21日~2020年11月20日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>△ 1,109円</b>
受取利息	223
支払利息	△ 1,332
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>△ 65,958,033</b>
売買益	22,243,992
売買損	△ 88,202,025
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 10,847,248</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 76,806,390</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>77,276,114</b>
(分配準備積立金)	(86,061,118)
(繰越欠損金)	(△ 8,785,004)
<b>(F)追加信託差損益金*</b>	<b>397,271,856</b>
(配当等相当額)	(252,907,435)
(売買損益相当額)	(144,364,421)
<b>(G)合計(D+E+F)</b>	<b>397,741,580</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>397,741,580</b>
追加信託差損益金	397,271,856
(配当等相当額)	(254,938,990)
(売買損益相当額)	(142,332,866)
分配準備積立金	140,229,194
繰越欠損金	△ 139,759,470

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。  
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。  
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。  
 (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

**分配金の計算過程**

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,168,076円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	257,512,386円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	86,061,118円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	397,741,580円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	510.90円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# お知らせ

## ■運用体制の変更について

代表取締役社長に大関洋が就任いたしました。

(2020年3月25日)

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／債券／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の公社債に投資することにより、NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。	
主要運用対象	<購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券 インデックスファンド	ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド受益証券
	ニッセイ国内債券 インデックス マザーファンド	国内の公社債
運用方法	<購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券 インデックスファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資対象資産は、国内の通貨建またはユーロ円建表示であるものに限りません。
	ニッセイ国内債券 インデックス マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資対象資産は、国内の通貨建またはユーロ円建表示であるものに限りません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	

# ニッセイ国内債券インデックス マザーファンド

## 運用報告書

### 第 19 期

(計算期間：2019年2月21日～2020年2月20日)

#### 運用方針

- ① 国内の公社債に投資し、NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。
- ② 原則として、ニッセイアセットマネジメント株式会社と株式会社ニッセイ基礎研究所が共同開発したクオンツモデルを利用し、ポートフォリオを構築します。

#### 主要運用 対象

国内の公社債

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・投資対象資産は、国内の通貨建またはユーロ円建表示であるものに限りま



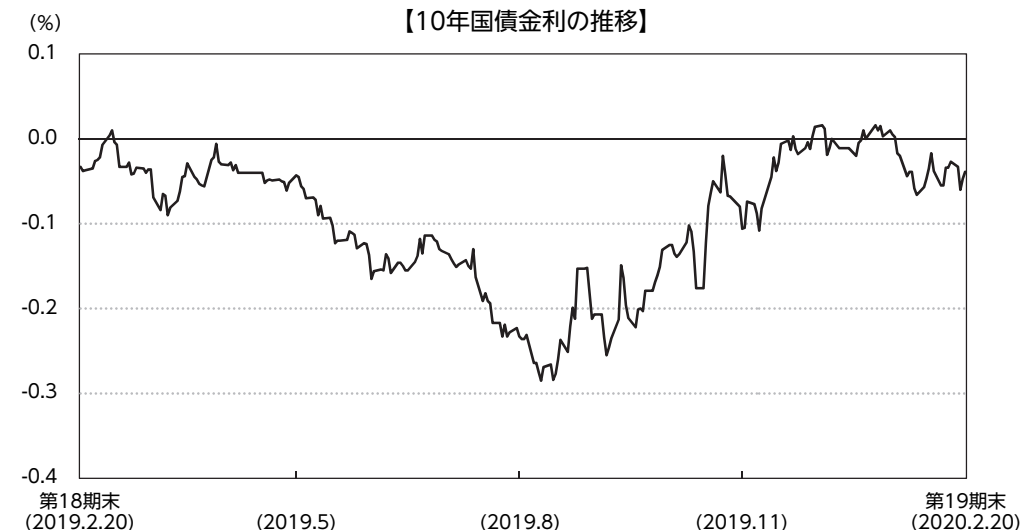
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2019年2月21日～2020年2月20日

## 国内債券市況



(注) 10年国債金利はブルームバーグのデータを使用しています。

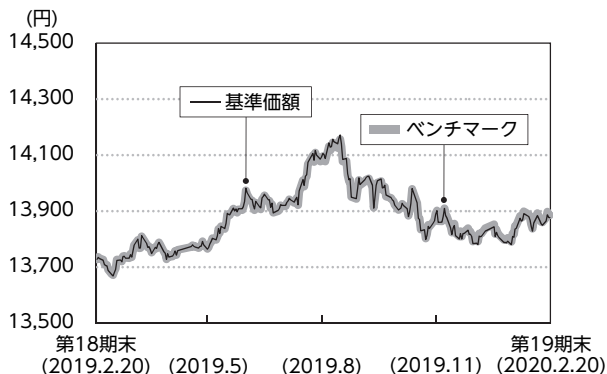
当期の10年国債金利は小幅に低下しました。

期初以降、2019年1月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で当面利上げを停止することが明確に示されたことなどから国内金利は低下基調となり、その後も3月のFOMCで想定以上にハト派（金融緩和推進派）姿勢が示されたことなどをを受けてさらに低下しました。4月になると米中通商協議の進展や日銀による国債買入れオペ（公開市場操作）の減額等から一時上昇に転じましたが、5月中旬の米国による中国通信機器最大手の華為技術（ファーウェイ）に対する禁輸措置をきっかけに投資家心理が一段と悪化し、金利は再び低下基調となりました。また8月に入ると、米国による対中制裁関税「第4弾」の発動が発表され、米中貿易摩擦の激化懸念が増大したことや欧米の追加緩和期待の高まりを受けて、国内金利も大幅に低下しました。

しかし、9月以降は米経済指標の上振れから海外金利が上昇基調に転じる中、黒田日銀総裁による金利上昇指向を示唆する発言などから国内金利も上昇に転じ、その後も12月まで米中貿易協議の進展期待や日銀の追加緩和期待等から上下に振れながらも上昇しました。2020年1月には、中国で発生した新型コロナウイルスが世界的に拡大したこと等から投資家のリスク回避姿勢が強まり、国内金利は低下基調となりました。結局、期初よりもやや低い水準で当期末を迎えました。



## 基準価額等の推移



### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 期初から2019年8月にかけて、主要中央銀行の緩和的な金融政策姿勢や米中貿易摩擦の激化懸念等を背景に投資家心理が悪化したことなどから、金利が低下（債券価格は上昇）したこと

#### <下落要因>

- ・ 2019年9月から12月にかけて、日銀による金利上昇指向を示唆する発言や米中貿易協議の進展等を背景に投資家心理が改善したことなどから、金利が上昇したこと

## ポートフォリオ

ニッセイアセットマネジメント株式会社と株式会社ニッセイ基礎研究所が共同開発したクオンツモデルを利用して、ポートフォリオのデュレーション、残存期間別構成比等を調整し、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。

当期も上記クオンツモデルに基づき、ポートフォリオのデュレーション、残存期間別構成比（短期・中期・長期・超長期別の構成比）がベンチマークに対しおおむね中立となるよう、適宜売買を実施しました。

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

## ベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+1.1%となり、ベンチマーク騰落率（+1.2%）にほぼ連動しました。

## 今後の運用方針

引き続き、クオンツモデルに基づき、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	ベンチマーク	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
	円	%		%	%	百万円
15期(2016年2月22日)	13,389	4.4	13,376	4.2	99.0	25,320
16期(2017年2月20日)	13,369	△0.1	13,372	△0.0	99.3	28,941
17期(2018年2月20日)	13,502	1.0	13,506	1.0	99.0	29,566
18期(2019年2月20日)	13,728	1.7	13,736	1.7	99.0	33,405
19期(2020年2月20日)	13,877	1.1	13,894	1.2	99.2	41,491

(注) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券組入比率
	円	%		%	%
(期首)2019年2月20日	13,728	—	13,736	—	99.0
2月末	13,705	△0.2	13,716	△0.1	98.7
3月末	13,806	0.6	13,812	0.6	99.2
4月末	13,759	0.2	13,769	0.2	99.3
5月末	13,846	0.9	13,854	0.9	99.2
6月末	13,935	1.5	13,938	1.5	99.2
7月末	13,950	1.6	13,954	1.6	99.2
8月末	14,148	3.1	14,144	3.0	98.9
9月末	13,993	1.9	13,994	1.9	99.4
10月末	13,927	1.4	13,935	1.5	99.4
11月末	13,876	1.1	13,889	1.1	99.3
12月末	13,829	0.7	13,847	0.8	99.2
2020年1月末	13,889	1.2	13,905	1.2	98.9
(期末)2020年2月20日	13,877	1.1	13,894	1.2	99.2

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2019年2月21日～2020年2月20日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（13,878円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## 売買および取引の状況

2019年2月21日～2020年2月20日

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	39,253,515	31,202,967

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2019年2月21日～2020年2月20日

## 公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
千円		千円	
第342回 利付国債（10年）	3,160,976	第397回 利付国債（2年）	2,492,704
第100回 利付国債（20年）	2,734,139	第110回 利付国債（20年）	2,207,236
第117回 利付国債（20年）	2,587,875	第94回 利付国債（20年）	2,157,418
第133回 利付国債（5年）	2,582,551	第392回 利付国債（2年）	2,148,111
第397回 利付国債（2年）	2,496,343	第328回 利付国債（10年）	1,944,198
第131回 利付国債（5年）	2,055,421	第338回 利付国債（10年）	1,857,733
第350回 利付国債（10年）	2,043,308	第127回 利付国債（5年）	1,733,375
第333回 利付国債（10年）	1,930,587	第125回 利付国債（20年）	1,644,901
第403回 利付国債（2年）	1,873,658	第61回 利付国債（20年）	1,633,928
第67回 利付国債（20年）	1,828,536	第129回 利付国債（5年）	1,511,880

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

## 組入有価証券明細表

2020年2月20日現在

## 国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	37,217,000 ( 5,031,000)	41,150,055 ( 5,063,290)	99.2 (12.2)	—	63.6 ( 0.2)	24.9 ( 3.7)	10.6 ( 8.3)
合計	37,217,000 ( 5,031,000)	41,150,055 ( 5,063,290)	99.2 (12.2)	—	63.6 ( 0.2)	24.9 ( 3.7)	10.6 ( 8.3)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

## (国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第397回 利付国債（2年）	0.1000	2021/ 2 / 1	1,000	1,002
	第403回 利付国債（2年）	0.1000	2021/ 8 / 1	1,861,000	1,867,848
	第404回 利付国債（2年）	0.1000	2021/ 9 / 1	1,556,000	1,562,068
	第129回 利付国債（5年）	0.1000	2021/ 9 / 20	972,000	975,917
	第131回 利付国債（5年）	0.1000	2022/ 3 / 20	1,025,000	1,030,545
	第133回 利付国債（5年）	0.1000	2022/ 9 / 20	2,557,000	2,574,208
	第139回 利付国債（5年）	0.1000	2024/ 3 / 20	1,536,000	1,552,051
	第 2 回 利付国債（40年）	2.2000	2049/ 3 / 20	45,000	67,954
	第 4 回 利付国債（40年）	2.2000	2051/ 3 / 20	2,000	3,080
	第 8 回 利付国債（40年）	1.4000	2055/ 3 / 20	702,000	939,598
	第 11 回 利付国債（40年）	0.8000	2058/ 3 / 20	49,000	56,313
	第 12 回 利付国債（40年）	0.5000	2059/ 3 / 20	78,000	81,322
	第328回 利付国債（10年）	0.6000	2023/ 3 / 20	1,006,000	1,029,610
	第333回 利付国債（10年）	0.6000	2024/ 3 / 20	2,294,000	2,365,481
	第338回 利付国債（10年）	0.4000	2025/ 3 / 20	723,000	743,706
	第342回 利付国債（10年）	0.1000	2026/ 3 / 20	3,055,000	3,102,749
	第350回 利付国債（10年）	0.1000	2028/ 3 / 20	1,975,000	2,011,241
	第 18 回 利付国債（30年）	2.3000	2035/ 3 / 20	497,000	658,390

## ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第 26 回 利付国債 (30年)	2.4000	2037/ 3 /20	321,000	440,867
	第 30 回 利付国債 (30年)	2.3000	2039/ 3 /20	93,000	129,119
	第 34 回 利付国債 (30年)	2.2000	2041/ 3 /20	1,028,000	1,437,935
	第 37 回 利付国債 (30年)	1.9000	2042/ 9 /20	287,000	389,037
	第 38 回 利付国債 (30年)	1.8000	2043/ 3 /20	357,000	478,237
	第 49 回 利付国債 (30年)	1.4000	2045/12/20	937,000	1,191,189
	第 54 回 利付国債 (30年)	0.8000	2047/ 3 /20	1,733,000	1,947,528
	第 67 回 利付国債 (20年)	1.9000	2024/ 3 /20	1,659,000	1,799,500
	第 85 回 利付国債 (20年)	2.1000	2026/ 3 /20	731,000	832,068
	第100回 利付国債 (20年)	2.2000	2028/ 3 /20	1,999,000	2,376,131
	第110回 利付国債 (20年)	2.1000	2029/ 3 /20	12,000	14,377
	第117回 利付国債 (20年)	2.1000	2030/ 3 /20	2,075,000	2,522,868
	第125回 利付国債 (20年)	2.2000	2031/ 3 /20	218,000	271,259
	第143回 利付国債 (20年)	1.6000	2033/ 3 /20	2,574,000	3,088,207
	第144回 利付国債 (20年)	1.5000	2033/ 3 /20	638,000	757,172
第160回 利付国債 (20年)	0.7000	2037/ 3 /20	2,621,000	2,851,464	
	合計	-	-	-	41,150,055

### 投資信託財産の構成

2020年2月20日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	41,150,055	99.0
コール・ローン等、その他	418,776	1.0
投資信託財産総額	41,568,832	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月20日現在)

項目	当期末
<b>(A)資産</b>	<b>41,568,832,755円</b>
コール・ローン等	280,062,031
公社債(評価額)	41,150,055,968
未収利息	124,917,545
前払費用	13,797,211
<b>(B)負債</b>	<b>77,182,117</b>
未払解約金	77,181,665
その他未払費用	452
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>41,491,650,638</b>
元本	29,898,975,550
次期繰越損益金	11,592,675,088
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>29,898,975,550口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	13,877円

(注1) 期首元本額 24,333,886,950円  
 期中追加設定元本額 11,018,164,996円  
 期中一部解約元本額 5,453,076,396円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ国内債券インデックス S A (適格機関投資家限定) 1,654,940,660円  
 DCニッセイ国内債券インデックス 7,770,497,141円  
 ニッセイ日本バランス(成長型) S A (適格機関投資家限定) 2,853,739円  
 DCニッセイワールドセレクトファンド(債券重視型) 4,586,078,792円  
 DCニッセイワールドセレクトファンド(標準型) 7,037,661,852円  
 DCニッセイワールドセレクトファンド(株式重視型) 1,785,990,396円  
 ニッセイインデックスバランス(債券重視型) S A (適格機関投資家限定) 30,817,567円  
 ニッセイインデックスバランス(標準型) S A (適格機関投資家限定) 55,453,617円  
 ニッセイインデックスバランス(成長型) S A (適格機関投資家限定) 23,865,298円  
 <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド 6,014,703,816円  
 <購入・換金手数料なし>ニッセイ・インデックスバランスファンド(4資産均等型) 936,112,672円

### 損益の状況

当期(2019年2月21日~2020年2月20日)

項目	当期
<b>(A)配当等収益</b>	<b>328,373,027円</b>
受取利息	328,628,769
支払利息	△ 255,742
<b>(B)有価証券売買損益</b>	<b>41,275,448</b>
売買益	405,078,370
売買損	△ 363,802,922
<b>(C)信託報酬等</b>	<b>△ 18,088</b>
<b>(D)当期損益金(A+B+C)</b>	<b>369,630,387</b>
<b>(E)前期繰越損益金</b>	<b>9,071,159,756</b>
<b>(F)追加信託差損益金</b>	<b>4,270,495,395</b>
<b>(G)解約差損益金</b>	<b>△ 2,118,610,450</b>
<b>(H)合計(D+E+F+G)</b>	<b>11,592,675,088</b>
次期繰越損益金(H)	11,592,675,088

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## 指数に関して

### ■ ファンドのベンチマーク等について

#### ・ NOMURA-BPI 総合

NOMURA-BPI 総合は、日本国内で発行される公募債券流通市場全体の動向を的確に表すために、野村証券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数であり、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負うものではありません。